

「双葉地域における中核的病院のあり方検討会議」の開催状況

参考資料2

令和5年8月30日
福島県病院局

開催回		日程	議題	結果概要
第1回	検討会議	令和4年8月17日(水)	1 検討会議設置 2 双葉地域の中核的病院の検討に当たっての考え方 ・ 県立大野病院と双葉厚生病院の統合について ・ 中核的病院について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立大野病院と双葉厚生病院の統合については、<u>県とJA福島厚生連との間で統合解消に向けた手続きを進める。</u> ○ 県立大野病院と双葉厚生病院に替えて、<u>県が主導して双葉地域の中核となる病院を整備する。</u> ○ 双葉地域の中核的病院は、<u>大熊町に設置</u>する。 ○ 名称については、県立大野病院から<u>双葉地域の中核的病院としてイメージできるものに変更</u>する。 ○ 検討会議では、<u>県ふたば医療センター附属病院が担っている機能を含めて、双葉地域の中核的病院として必要な医療機能等の検討を行う。</u>
第2回	(第1回) 幹事会	令和4年10月28日(金)	第2回検討会議の議題について	○ 第2回検討会議の資料確認
	検討会議	令和4年11月4日(金)	1 中核的病院のコンセプト 2 中核的病院の主な機能 3 県立大野病院の現施設の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中核的病院のコンセプトは、<u>「地域に密着し、連携の核となる病院」</u>、<u>「地域の発展に貢献し、医療従事者に魅力ある病院」</u>とする。 ○ 主な機能として、<u>「地域の医療機関や隣接地域の医療機関と連携した医療の提供」</u>、<u>「ICT技術の積極的活用」</u>、<u>「福島国際研究教育機構との連携を視野に地域の発展に貢献」</u>などとする。 ○ 現在の県立大野病院の施設については、<u>中核的病院の規模・機能、修繕と新築の費用対効果、地元自治体の意見などを踏まえて検討</u>する。

開催回		日程	議題	結果概要
第3回	(第2回) 幹事会	令和5年1月31日(火)	第3回検討会議の議題について	○ 第3回検討会議の資料確認
	検討会議	令和5年2月9日(木)	1 双葉地域等の医療提供体制の現状 2 双葉地域の医療需要 3 中核的病院の医療機能等 4 中核的病院の今後の検討方針	○ 救急医療や地域包括ケアシステム構築支援などの医療機能、総合診療内科などの想定診療科、急性期や回復期患者の受入などの病床機能 について意見をいただいた。 ○ 今後は、 医療機関との連携強化やICT技術の積極的な活用 を前提とし、 診療科や病床の段階的な整備・拡充 や 郡内の民間医療機関の経営や進出を妨げない といった点を踏まえつつ、診療科や病床規模の検討を進める。
第4回	(第3回) 幹事会	令和5年5月31日(水)	第4回検討会議の議題について	○ 第4回検討会議の資料確認
	検討会議	令和5年6月12日(月)	1 中核的病院の医療機能の検討について 2 中核的病院の病床規模の検討について 3 中核的病院の診療科の検討について 4 中核的病院の医療機能概要について	○ 病床規模は、双葉郡各町村が策定した復興計画等で想定した人口と、福島イノベーション・コースト構想等の推進による人口増を踏まえ 250床前後、開院時は現在の医療需要から100床程度とする ことで、了承された。 ○ 地域の医療ニーズ及び隣接地域の医療機関の機能等の観点から、 内科、総合診療科、外科、整形外科、人工透析など20科程度とする ことでの了承された。 ○ 吉田大熊町長から、 具体的な整備候補地を町として検討し県へ提案する旨発言 いただいた。
第5回	(第4回) 幹事会	令和5年8月9日(水)	第5回検討会議の議題について	○ 第5回検討会議の資料確認
	検討会議	令和5年8月30日(水)	1 中核的病院の整備場所の検討について 2 中核的病院の整備について 3 中核的病院の整備基本構想(素案)について	

開催回		日程(予定)	議題(予定)
第6回	(第5回) 幹事会	令和5年10月頃	・中核的病院の整備基本構想案
	検討会議		